



最寄の駅から門まで
 東京メトロ丸ノ内線「茗荷谷」駅から徒歩7分
 東京メトロ有楽町線「護国寺」駅から徒歩8分
 都営バス「大塚二丁目」停留所下車徒歩1分

お茶大
 女性ビジネスリーダー育成塾
 き いん じゅく
徽音塾

まなぶ みがく つながる
 …… > 一步前へ!



[問い合わせ先]
 お茶大女性ビジネスリーダー育成塾: 徽音塾 事務局
 〒112-8610 東京都文京区大塚2-1-1
 TEL: 03-5978-5501 (水・金 午前10時～午後5時)
 E-MAIL: kiin-le@cc.ocha.ac.jp

HP <http://www-w.cf.ocha.ac.jp/leader/kiin/>

facebook <https://www.facebook.com/kiinjuku>



HP



facebook

まなぶ みがく つながる

●●● > 一步前へ!



き いん じゅく 徽音塾の理念

お茶の水女子大学は、2014年度からキャリアアップを目指す女性のための「お茶大女性ビジネスリーダー育成塾：徽音塾」(以下、徽音塾)を開講しました。

現在の日本においては、女性の幅広い分野での活躍を推進する機運がまだかつてないほどに高まっています。しかし、優秀かつ意欲ある女性であっても、指導的地位に就き、リーダーシップを発揮することは容易ではありません。女性の活躍を推進する環境づくりに加え、女性自身の意識変革や、不安や悩みの解消、自信を涵養することが、いま、社会的に求められています。

このような背景から、企業等で管理職などの指導的な立場に就くことを目指す女性を主たる対象に、徽音塾は開講されました。本塾は、学ぶ意欲のある女性に国立の女子大学ならではのきめ細やかで質の高い学びと交流の場、および家事や育児等と両立可能な学習環境の提供を目的としています。

徽音塾のキャッチフレーズ「まなぶ みがく つながる → 一步前へ!」は、塾生だけではなく、「リーダーシップを発揮する女性を育成する」というお茶の水女子大学の社会的使命をも表現しています。本学は、創設以来一貫して、女性の自立と社会的活躍に寄与してきました。長い歴史のなかで、女性が学ぶ場を作るべく道を切り拓いてきた本学の新たな使命は、社会人女性が意欲的に学ぶ場を創造し、社会的変革に寄与しうる女性リーダーを輩出することであり、ひいては女性が活躍する社会を実現していくことにあります。

徽音塾で学んだ女性たちが、それぞれの立場で最大限の可能性を開花していかれることを願っています。多くの方のご参加を歓迎いたします。

*塾の名前にある「^{きいん}徽音」とは、古くは中国の『詩経』大雅に見られることばです。直訳すると「美しい声」であり、「美德」を意味しています。徽音塾に集う女性たちが、自分を磨き、美しく響きあって共に学びを深め、実践に生かすことと、それが社会に共鳴の輪となって広がることへの期待を込めて名付けました。

*お茶の水女子大学は、前身である東京女子師範学校の開校にあたり、昭憲皇太后から、1875(明治8)年12月に下賜された御製歌「みがかずば 玉もかがみも なにかせん 学びの道も かくこそ ありけれ」の精神に基づき、常に問題意識を持ち、自ら積極的に周囲に働きかけ、社会に変革をもたらす、新しい時代の女性リーダーを育成しています。



リーダーに求められるマネジメント能力を体系的に学びあう



き いん じゅく 徽音塾の特長

- 01 企業等で指導的立場に就くための知識やスキルを習得できます。**
※一部の講座は部分受講もできます。詳しくは募集要項(p.9~10)をご覧ください。
- 02 授業は少人数制。**
講師と塾生が近い距離でグループワークやディスカッションできます。
- 03 受講者は女性のみ。**交流会を通じネットワーク作りができます。
※ネットワーキングランチ(昼食を兼ねた交流会、p.8)を是非ご利用ください。
※塾生のOG会も活動中です。(http://ogkaikiin.iinaa.net/)
- 04 講座終了後のフォローがあります。**提出されたレポート課題には講師からのきめ細やかなコメントが返ってきます。
- 05 都心のキャンパスで開講。**
アクセスしやすい環境です。

INDEX

- P1** 徽音塾の理念
- P2** 徽音塾の特長
- P4** 2019年度 開講講座・講師一覧
 - ①本講座
 - ◆春学期 (5月講座) 女性のエンパワーメントとリーダーシップ
- P5** (6月講座) リーダーシップ実践/異文化コミュニケーション
 - ◆秋学期 (9月講座) 企業会計
- P6** (11月講座) マーケティング/経営戦略
 - ◆冬学期 (1月講座) イノベーションとアントレプレナーシップ/CSRと情報開示
 - (2月講座) ビジネスと法律
- P7** ②トライアル講座 (4月講座) ジェンダー (7月講座) パーソナル・ブランディング (8月講座) ビジネスパーソンの教養
- P8** ネットワーキングランチ 塾生の声
- P9** 2019年度 募集要項

◎こんな人は徽音塾へ！

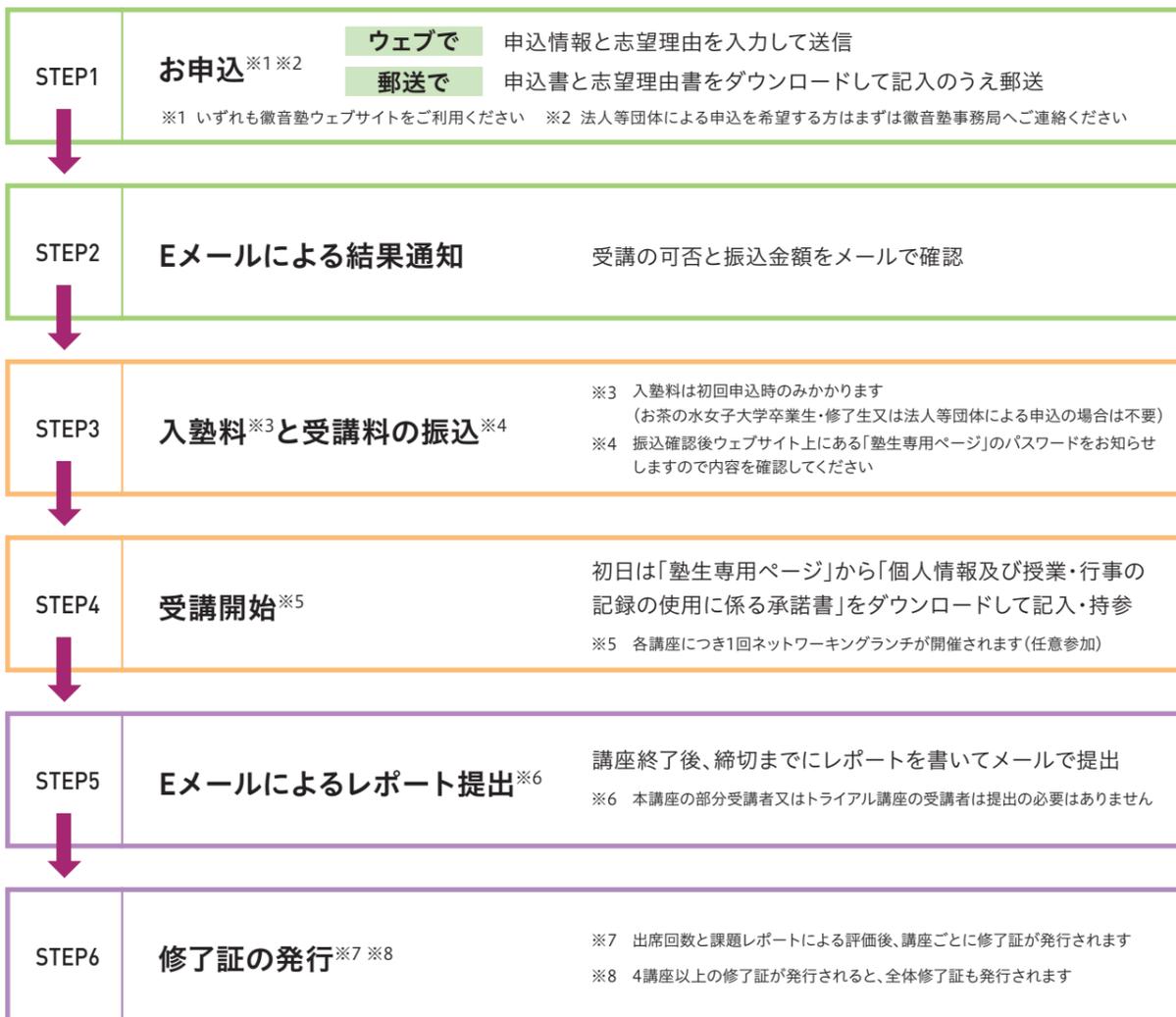
～あなたは働くうえで次のような悩みや不安をもったことはありませんか？～

- ★昇進を打診されたけれど、自分にできるか不安。
自信を持てるようになりたい。
- ★OJTだけでなく体系的にビジネスの知識を学びたい。
- ★ビジネススクールに通うのは難しいけれど、将来キャリアを
ステップアップさせるために必要な知識や助言がほしい。
- ★他の女性がどんなふうにいるのか気になるし、
自社の仕事だけでなく他社・異業種の様子も知りたい。
- ★子どもも小さいし、長期間通学するのが難しいのではないかと不安。

徽音塾では、このような考えや想いをもった女性たちが集まり、学び、意見を交しながらともに磨き合い、自らの課題を克服するきっかけを作ることができます。**企業研修としてのお申込(法人等団体によるお申込)も受け付けています。**徽音塾事務局へお気軽にお問合せください。



◎お申込から修了までの流れ



2019年度 開講講座・講師一覧

徽音塾の講座は、本講座とトライアル講座で構成されています。各講座の内容は以下をご覧ください。

- ①本講座 一般的なビジネススクールで学べる内容を厳選した講座です。働く女性のエンパワメントに始まり、リーダーシップ、企業会計、マーケティング、法制度などをテーマにした全6講座及びプレ講座1講座で構成されています。1講座(4日間)から受講できます。講座によっては部分受講(2日間)も可能です。
- NEW
②トライアル講座 2019年度から開設した講座です。運営母体であるお茶の水女子大学の強みを活かし、ジェンダーやパーソナル・ブランディング、教養をテーマにした全3講座で構成されています。開講日数や受講については、各講座の説明をお読みください。

①本講座

春学期 Spring

授業時間 | 13:30~15:00、15:10~16:40(共通)

5月講座

女性のエンパワメントとリーダーシップ ※部分受講ができます(p.9参照)

「海外の第一線で家庭と元気を大事にしながら、リーダーとして働いた秘訣は？」5.11(土)

私は日本政府での行政経験を経て、UNESCO、UNIDOといった国際機関で多国籍の人達をマネージしながら仕事をして来て、その後日本を代表する大使としてモロッコで働きました。その中で、2人の子供を夫、両親を始め様々な人の助けを借りながら育て、振り返ってみれば種々な工夫をして家庭生活と仕事のバランスを取ることで元気に楽しく(もちろん沢山苦労もしつつ笑)働いてきたように思います。皆さんが自分らしく元気に働き、キャリアデザインを築いていけるように、私のケースをお話しし、女性の活躍の必要性、海外での労働環境も紹介しようと思います。(キーワード:キャリアデザイン、ダイバーシティ、ワークライフバランス、グローバル、女性の活躍促進)



ひろせ はるこ
広瀬 晴子 [お茶の水女子大学 理事]

1969年東京大学心理学科卒、米国スタンフォード大学工学部OR学科修士。人事院、経済企画庁を歴任。1992年にUNESCO本部の公募に応募し、人事局長としてパリに赴任、その後2002年にUNIDO事務局長としてウィーンに勤務。2006年に在モロッコ王国特命全権日本大使として赴任。2010年に帰国後2013年から東京工業大学グローバルリーダー教育院特任教授、2017年4月からお茶の水女子大学理事、2016年よりS&B食品社外取締役、2018年より日機装社外取締役、2014年より日本モロッコ協会会長。

「ダイバーシティとワークライフバランスについて学ぶ」5.18(土)

ダイバーシティとワークライフバランスが重要になった背景について学び、女性の活躍や両立策について日本と海外を比較しながら、意識や働き方などに関わる日本特有の女性活躍に関する課題への理解を深めます。また、自身が上司になった時の適切な多様な人材のマネジメントのポイントややり方等も学びます。受講者同士のディスカッションにより、多様な意見を交換し、視野を広げましょう。(キーワード:ダイバーシティ、ワークライフバランス、働き方、海外事情、女性の活躍)



パク・スックチャ [アパシオナータ, Inc. 代表&コンサルタント]

米国ペンシルバニア大学経済学部BA(学士)、シカゴ大学MBA(経営学修士)取得。米国と日本で米国系企業に勤務後、日本に戻り米国系運輸企業に入社。同社にて日本・香港・シンガポール・中国など、太平洋地区での人事、スペシャリストおよび管理職研修企画・実施を手がける。2000年に退社し、日本で最初にワークライフバランスを推進するコンサルタントとして独立。ダイバーシティの専門家として、多様な人材マネジメントと受容的環境構築(インクルージョン)への意識・風土改革及び教育研修に携わる。専門:ダイバーシティ(多様性)、無意識の偏見(アンコンシャスバイアス)、ワークライフバランス、テレワーク(在宅勤務)

「これからの、女性のリーダーシップ〜グローバルとローカルの視点から〜」5.25(土)

急速な社会情勢の変化の中で、女性リーダーの活躍のチャンスが広がっています。当講座では、グローバルとローカルの視点から、女性リーダーの活躍のチャンスを紹介し、チャンスをつかむために求められるリーダーシップのあり方を考えていきます。また、最新のリサーチやさまざまな事例をもとに、女性がリーダーシップを発揮するうえで直面する代表的な課題と、実践的な課題克服のヒントを提示します。双方向レクチャーやディスカッションを採り入れ、受講者が問題意識をもち主体的に学ぶ場を提供します。(キーワード:俯瞰力、グローバル視点)



にしづみ みさき
近藤 美樹 [Value & Vision LLC 執行役員 人材育成・組織開発コンサルタント]

ポストコンサルティンググループ、日本ロレアルの人事マネジャーとして10数年にわたり、人材育成・組織開発に従事。2010年に独立後、企業や教育機関に対し、ひとの意識・行動を変える研修、組織の仕組み・風土を変えるコンサルティングを行う。直近では、グローバルで活躍できる人材の育成、女性のリーダーシップ開発、ダイバーシティ&インクルージョンの推進に注力。シドニー大学大学院ヒューマンリソースマネジメント・コーチング(心理学)修士(MA with Merit)、IMDビジネススクールStrategies for Leadership修了。青山学院大学文学部フランス文学科卒業。

「なぜ女性は政治・経済の分野から遅れているのか？」6.1(土) ※開催月日に注意

これまで本塾の講師を第1回から担当してきたが、受講生からの最初に受けた新鮮なインパクトは年々薄れてきたように感じる。個人の問題なのか。社会変化に問題があるのか。私自身がさまざまな組織で働いてきた経験から、経済、政治、グローバル社会の変容と女性のエンパワメントについて、皆さんと議論する材料を提供したい。(キーワード:政治・経済の仕組みを知る)



しづか えいこ
篠塚 英子 [お茶の水女子大学 名誉教授、島根大学 監事(非常勤)、小松製作所 社外監査役、日本証券金融 社外取締役、ライフネット生命 社外取締役など]

1965年武蔵大学経済学部卒業、社団法人日本経済研究センター入社。お茶の水女子大学家政学部助教授、教授。日本銀行審議委員、お茶の水女子大学(再就職)文教育学部教授、定年退職後、日本司法支援センター(法テラス)理事、人事院人事官。現在お茶の水女子大学名誉教授。専門分野:労働経済学、金融政策、ジェンダー論。主著『日本の女子労働』『日本の雇用調整』等。総務省統計審議会委員、商学博士(慶應義塾大学)。

6月講座 リーダーシップ実践／異文化コミュニケーション ※部分受講ができます(p.9参照)

「貴女のリーダーシップのあり方を考える、作る」6.8(土)／6.15(土)

リーダーシップのあり方は千差万別です。この授業ではディスカッションを通じて貴女なりのリーダーシップについて様々な角度から考えます。授業はケースメソッドで行われます。ケースを自ら考え、グループで考え、そして皆で考えることで、自分なりのリーダーシップを見つめ直します。受講生は事前課題のケースをよく読み込んで自分だったらどう意思決定し行動するのか、様々な立場に身を置き考えることが求められます。(キーワード:リーダーシップ、意思決定)



高田 朝子 [法政大学大学院 イノベーション・マネジメント研究科 教授]

モルガン・スタンレー証券会社勤務を経て、サンダーバード国際経営大学院国際経営学修士(MIM)、慶應義塾大学大学院経営管理研究科経営学修士(MBA)、同博士課程修了。経営学博士。専門分野:組織行動 リーダーシップ 女性総合職並びに後継者研究。

「多様性対応コミュニケーション」6.22(土)／6.29(土)

異なる文化背景の人々とのコミュニケーションの際、言葉が通じても文化の差による勘違いや摩擦が起きることが多々ある。逆にその勘違いや摩擦から得るものも大きい。ビジネスリーダーは多様性を積極的に活用し効果を上げなければならない。この授業ではディスカッションや疑似体験等を通して、異文化接触を体験的に学んでもらい、感受性を高める。受講生の積極的かつ主体的な参加が求められる。(キーワード:ネットワーク構築、コミュニケーション、異文化理解)



吉田 友子 [慶應義塾大学 商学部 教授]

1991年にEast-West Centerの研究員、1993年にSheraton Hotel HawaiiのTraining Directorを経て1996年に慶應義塾大学商学部に着任。現在、教授。1991年にシラキュース大学大学院修士号取得、2005年にハワイ大学大学院博士号取得。専門分野:異文化コミュニケーション、文化心理学。

秋学期 Autumn 授業時間 | 13:30～15:00、15:10～16:40(共通)

9月講座 企業会計 ※プレ講座あり

本講座は、ビジネスリーダーを目指す上で身に付けておきたい企業会計の重要な事項を学びます。財務会計においては、簿記や会計の基本的諸原則、制度を解説した上で、実際の開示資料である有価証券報告書や会計上のトピックスに触れることで財務諸表への理解を深めることを、管理会計においては、原価計算の基礎及び損益分岐点分析、プロジェクト評価の方法、資本コスト等、管理会計の基本的な要素を知るところを目的としています。(キーワード:有価証券報告書、財務諸表理解、業績評価・組織管理の会計、損益分岐点分析、資本コスト管理)

「財務会計」9.14(土)／9.21(土)



菱山 淳 [専修大学 商学部 教授]

明治大学大学院商学研究科博士後期課程満期退学後、2008年より現職。日本会計研究学会評議員等を歴任。専門分野:財務会計、IFRS制度化論。

「管理会計」9.28(土)／10.5(土) ※開催月日に注意



櫻井 康弘 [専修大学 商学部 准教授]

2001年中央大学大学院商学研究科博士後期課程単位取得退学。高千穂大学商学部准教授を経て、2012年4月より現職。専門分野:会計情報システム論、コンピュータ会計。

9月プレ講座 「企業活動の成績表と簿記の仕組み」9.7(土) 13:30～15:00、15:10～16:40



「企業会計」の受講にあたり、専門用語や財務諸表の読み方など、基礎的な簿記の知識を身につけることができるプレ講座です。プレ講座は、「企業会計」講座を受講し、かつ、簿記の初歩的な知識を学びたい方にお勧めです。2019年度からプレ講座のみの受講ができるようになりました。

櫻井 康弘 [専修大学 商学部 准教授] 9月本講座「管理会計」講師

【受講料】8,640円(1日分) ※消費税込

11月講座 マーケティング／経営戦略 ※部分受講ができます(p.9参照)

「マーケティング入門」11.2(土)／11.9(土)

マーケティングとは、顧客(マーケット)に商品やサービスを売るための「仕組み(商品開発、価格設定、プロモーション、流通ルート)」づくりをいいます。顧客という「(見知らぬ)他者への思い」を巡らせながら、彼らが喜んで買ってくれる商品やサービスのあり方について、ワークショップ形式で議論していきたいと思っています。準備するものは「他者への好奇心」と「遊びゴコロ」だけです。(キーワード:マーケティングの基礎理論、マーケティングリサーチ、消費者行動)



神原 理 [専修大学 商学部 教授]

1995年兵庫県立大学大学院経営学研究科博士課程修了、同校助手、講師を経て、2000年4月より専修大学に勤務。専門分野:サービス・マーケティング、商品研究。

「経営戦略の基礎」11.16(土)／11.30(土)

戦略とは何か? 戦略はなぜ必要か? 戦略を立てるにはどうすればよいか? どんなに優れた人が集まっても、どんな優れた組織でも、戦略(目標や目的に向かってとるべき方策)が不明確であれば、よい結果を生み出すことはできません。本講座では、企業のみならず「経営」には欠かせない戦略について、グループワークや講師との双方向のディスカッションを通して基本からやさしく学びます。(キーワード:戦略、製品・市場(事業ドメイン)、経営資源、経営組織、競争優位、SWOT分析)



露木 恵美子 [中央大学大学院 戦略経営研究科(ビジネススクール) 教授]

2003年北陸先端科学技術大学院大学知識科学研究科博士後期課程修了(博士:知識科学)。独立行政法人産業技術総合研究所ベンチャー開発戦略研究センター特別研究員、明星大学経済学部経営学准教授を経て、2011年4月より現職。専門分野:組織論、戦略論、ハイテク・スタートアップス(ベンチャー起業論)。

冬学期 Winter 授業時間 | 13:30～15:00、15:10～16:40(共通)

1月講座 イノベーションとアントレプレナーシップ／CSRと情報開示 ※部分受講ができます(p.9参照)

「新規事業開発に効く! イノベーションと企業家活動」2020年1.11(土)／1.18(土)

経済、社会環境の変化が激しい現代の企業や組織において、新たな価値を生み出すイノベーションは必要不可欠です。特に、これまでの事業分野と全く異なる新規事業の開発や、革新的なベンチャー企業との事業提携においては、イノベーションやそれを活用して新事業を創出する企業家活動への理解が必要です。企業家活動は、リーダーが知っておくべき知識であると同時に、セカンドキャリアとして自ら起業する際にも役立つ知識です。本講座では、イノベーションの本質や創出、革新的な事業の開発について、講義とケース分析、グループワークを通じて学びます。(キーワード:イノベーション創出、新規事業開発、アントレプレナーシップ、起業)



鹿住 倫世 [専修大学 商学部 教授]

1986年お茶の水女子大学家政学部卒業。特殊法人中小企業事業団に入職。在職中、1996年法政大学大学院経営学専攻修士課程修了(修士(経営学))。高千穂大学教授を経て2010年4月より現職。博士(学術)(早稲田大学)。専門分野:アントレプレナーシップ、中小企業経営、創業支援。

「サステナビリティと情報開示(ステークホルダーの視点から)」2020年1.25(土)／2.1(土) ※開催月日に注意

今や企業にとって欠かせない活動となったサステナビリティについて、その歴史を紐解くとともに、ESG投資、SDGs、CSVなどグローバルのトレンドも踏まえて解説し、企業と社会の関係のあり方を考えます。またサステナビリティレポートや統合報告などの情報開示に関する潮流を、多数の事例とともに紹介し、企業を取り巻くステークホルダーの視点から情報開示を考えます。講座は演習やディスカッションを取り入れた双方向のものとなります。(キーワード:CSR、サステナビリティ、ステークホルダー)



達脇 恵子 [有限責任監査法人トーマツリスクアドバイザー事業本部 パートナー、ESG・統合報告アドバイザー 事業ユニット長、デトロイトトーマツサステナビリティ株式会社 代表取締役社長]

早稲田大学第一文学部卒。事業会社を経て2000年より現職。コンサルタントとして企業のガバナンスに関するプロジェクトに多数関与。専門分野:ガバナンス、リスクマネジメント、サステナビリティ。

2月講座 ビジネスと法律 ※日程変更にご注意

「女性リーダーが使えるビジネス関連の法律」2020年2.8(土)／2.22(土)⇒2.15(土)／2.29(土)／3.7(土)

日常のビジネスに関係する法律や制度の知識を習得することを目的とします。消費者契約法、特定商取引法、PL法、景表法、独禁法、下請代金遅延等防止法、会社法、金商法、コンプライアンス制度、内部通報制度、企業倫理、個人情報保護法、労働基準法、育児介護休業法、男女雇用機会均等法、パートタイム労働法、労働者派遣法、高齢者・障害者雇用、労働審判手続、女性活用推進法が対象です。可能な限り将来の法改正の方向にも触れたいと思います。(キーワード:消費者保護、ビジネス法、コンプライアンス、データプライバシー、労働法、女性活用)



汐崎 浩正 [西村あさひ法律事務所 弁護士(パートナー)]

1989年 東京大学法学部第一類卒業、1997年 シカゴ大学ロースクール卒業(LL.M.)。「日本の独占禁止法の執行力の強化と国際カルテル事件への対応」「企業不祥事のビジネスリスク」等を講演。The Legal 500 Asia Pacific 2015(労働法)、及びWho's Who Legal 2018(独禁法)等を受賞。2014年度德音塾「企業法務・労務管理」講師。2015年度から德音塾「企業と法律」講師。

②トライアル講座 NEW

4月講座 ジェンダー

「ジェンダー・エクイティをめざして」4.20(土)

日本では2016年4月より「女性活躍推進法」(女性の職業生活における活躍の推進に関する法律)が施行されましたが、政治、経済等の4分野のジェンダー格差に関する国際的な指標(ジェンダー・ギャップ指数)で日本は144か国中111位(2016年)、114位(2017年)と順位を下げています(2018年度は149か国中110位)。なぜ日本のジェンダー格差は縮まらないのか。本講座では、ジェンダーに関する基礎知識を学ぶとともに、日本のジェンダー平等の現状についてイクオリティ(平等)とエクイティ(衡平)という観点から考えます。国際指標についてのグループワークも行ないます。(キーワード:ジェンダー、ジェンダー平等、エクイティ(衡平)、ジェンダー格差指数、女性活躍推進)



おおき なおこ
大木 直子

【お茶の水女子大学グローバルリーダーシップ研究所 特任講師(専門分野:ジェンダーと政治、リクルートメント研究)】

7月講座 パーソナル・ブランディング

「『パーソナルブランド』を作ろう!」7.20(土)/7.27(土)

本講座は、自分自身を内観・外観し、多角的に「自分を知る」ことから始めます。自分を知ったうえで、それをいかにしてコントロールして人の記憶に残すことができるのかについて学びます。学術的な側面から「パーソナル・ブランディング」の理論を学び、実践を通じてそのテクニックを身に着け、自己PRの課題とおとして「パーソナルブランド」の構築を目指します。(キーワード:自己分析、印象形成・印象操作、コミュニケーション、プレゼンテーション、自己PR)



ないとう あきえ
内藤 章江

【お茶の水女子大学グローバルリーダーシップ研究所 特任講師(専門分野:被服心理学、被服意匠・色彩学)】

8月講座 ビジネスパーソンの教養

「東アジアにおけるリーダー像の伝統と思想」8.3(土)

私たちが生活する日本を含め、東アジアの人びとにとって理想のリーダーシップやマネジメントはどのような形だと考えられてきたのでしょうか。目指すべきリーダー像や、リーダーが実践すべき徳目にはどんなものがあるのでしょうか。この講座では、中国の士大夫(エリート)の必須教養とされた儒教や、日本人が古来重視してきた「清らかさ」の思想などを、経書や記紀神話の原典を参照しながら学び、現代日本の私たちのリーダーシップやアイデンティティに関する意識との関係について考えます。(キーワード:東アジアの思想、リーダー像、聖人、記紀神話、清明心)



おほま せいこ
小濱 聖子

【お茶の水女子大学グローバルリーダーシップ研究所 特任リサーチフェロー(専門分野:日本倫理思想史、比較思想)】

- 講座内容、講師については、予告なく変更する場合があります。ご了承ください。
- 講師の所属、役職等は、2018年12月時点での情報です。

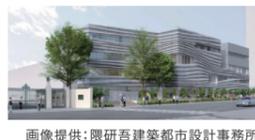
◆大学施設(附属図書館)の利用について

塾生は、お茶の水女子大学附属図書館を利用することができます。(初回授業時に図書館利用者カードを配付。)附属図書館では一般教養書から学術専門資料まで約71万冊の図書や1万1千タイトルの電子ジャーナル、語学学習用の教材や視聴覚資料、ジェンダー研究や幼児教育など本学特有の貴重な資料群を提供しています。また、全国に先駆けて、ラーニング・commonsやキャリアカフェといったアクティブラーニングスペースを提供してきました。2017年度の増築・改修工事を経て、2018年の春には、さらに魅力的な空間としてリニューアルオープンしました。



◆国際交流留学生プラザの設立について NEW

お茶の水女子大学の正門(東門)脇に建設される本建物は、国際交流・地域貢献・世代間交流の3つの目的をもつ集いの場として2019年3月オープン予定です。1Fに大学インフォメーションセンター、国際交流室、カフェ、2Fに多目的ホール、3Fにセミナー室、4Fに宿泊施設などが入る予定です。大学および附属校園卒業生の同窓会commons(会議室、事務室など)も設けられます。德音塾でも活用していく予定です。



画像提供: 隈研吾建築都市設計事務所

ネットワーキング ランチ

各講座中1回(11時30分~13時00分)、ランチを兼ねて塾生同士のネットワークを構築するための交流会を開催しています。ランチの前半には話題提供のためのミニレクチャーが設けられています。

※塾生であれば、どの講座で開催されるネットワーキングランチにも参加できます。
※参加は任意です。参加費(300円程度)が別途かかります。



交流会の様子

ミニレクチャー

※所属と職位はミニレクチャー開催時のものです。

(2018年度に開催したものの一部紹介)

※2018年度秋から、塾生企画の応募開催も始めました。NEW

2018年度は、本学の教職員を講師としたミニレクチャーのほか、塾生による企画も実施しました。交流を深めるきっかけとなり日々の生活に役立つ多彩な話題が提供され、参加者からは「仕事、学校、家庭以外のサードプレイスの大切さを感じますし、共感しました」「小さな商いを育てるにあたって、メンター的な先輩がいなくて悩んでいたところだったので、本日のご縁に本当に感謝です」などの声をいただきました。

5月 「対話でなにが伝わるか 一問一答のコミュニケーション」
小濱 聖子
(本学グローバルリーダーシップ研究所 特任リサーチフェロー)

6月 「多文化間交流を通じた日本人学生のリーダーシップに関する学びと認識」
小松 翠
(本学グローバルリーダーシップ研究所 特任講師)

9月 「『ごはん屋MOGU』を私が立ち上げた理由 一変化する日本社会の中で見つけた大切にしたいもの」【塾生企画】
講師:中川 陽子 氏(ごはん屋MOGUオーナー)
企画者:田邊 恵子 氏(2014年度入塾生)

11月 「小さな世界から美意識を探る」
森 暁子
(本学 研究員、グローバルリーダーシップ研究所 アカデミック・アシスタント)



Students' Voices 塾生の声

2018年度の德音塾では、20代から50代までの様々な業種の女性が同じ教室で肩を並べて学びあいました。これからリーダーを目指す人だけでなく、既にリーダーとして活躍している人がさらに自己を磨く場としても德音塾は活用されています。



「女性ならではの内的要件、外的要件(壁になるもの)を改めて聞くことで、今後自分がキャリアを築いていく上で克服しなければならないこと、意識しなければならないことを認識することができ、大変ありがたく思います」
(女性のエンパワーメントとリーダーシップ)

「なぜ女性活躍が必要か、なぜ女性管理職を増やす必要があるのか、など物事の本質や背景を学んだことで、問題解決の目的を知ることができました」
(女性のエンパワーメントとリーダーシップ)

「リーダーシップがない人はいない、発揮の仕組みが分からないだけであるということが非常に参考になるとともに励みにもなりました」
(リーダーシップ/異文化コミュニケーション)

「文化摩擦は、これまで不快なだけだと思っていましたが、相手や自分を知る良い機会なのだ」と前向きにとらえられるようになりました」
(リーダーシップ/異文化コミュニケーション)

「図表を多く取り入れて解説してもらったのでわかりやすかったです」(「企業会計」プレ講座)

「同業他社の財務諸表を比較する際に、いくつかの重要な数字を見比べるだけでもその会社の特徴が見えてくるようで面白かったです」
(企業会計)

「先生が最初におっしゃっていた“感じろ!”という部分。何かにつけ分析して情報ばかりあつめていた私には、とても心にひびきました」(経営戦略/マーケティング)

「イノベーションを活用して事業存続か事業拡大に成功した例、失敗した例について具体的な話を数多く聞くことが出来て、有意義な時間を過ごすことができた」
(イノベーションとアントレプレナーシップ/CSRと情報開示)

「1月講座で学んだCSRについて法律の観点から話を聞くことができて知識が深まりました」
(企業と法律)

※カッコ内は2017~2018年度の講座名を示しています。

お茶大女性ビジネスリーダー育成塾:徹音塾

2019年度

募集要項

I. 徹音塾の概要

お茶の水女子大学(以下、本学)は、女性リーダーの育成を重要なミッションとしています。お茶大女性ビジネスリーダー育成塾:徹音塾(以下、徹音塾)は、その使命の一環として、企業等で指導的立場(上位の管理職)に就くことを目指す女性を応援するために開設された、学びとネットワーク構築の場です。「徹音塾の理念」のページもお読みください。

II. 受講対象者

徹音塾の主たる受講対象者は、課長相当職に就く以前の女性です。当塾は、女性ビジネスリーダーの育成を目的としているため、女性のための募集としています。各講座を受講するにあたっては、大学卒業程度の学力が必要です。また企業等での就業経験のあることを前提とします。企業等で指導的立場(上位職、管理職)に就き、仕事における活躍の場を広げたいと考える女性の積極的な受講を期待しています。

III. カリキュラムと開講日程

2019年度の各講座の内容、講師紹介はp.4~p.7をご参照ください。
 ☆6つある本講座では、各講座中1回、ランチを兼ねて塾生同士のネットワークを構築するための交流会(ネットワーキングランチ)を開催しています。(開催日は事前に連絡します。11:30~13:00、別途参加費が必要です)

IV. 定員

女性 30名程度(各講座)

V. 開講場所(教室)

お茶の水女子大学(東京都文京区大塚2-1-1) 人間文化創成科学研究科棟 6階 604室

【最寄駅】東京メトロ丸ノ内線「茗荷谷」駅から徒歩12分/東京メトロ有楽町線「護国寺」駅から徒歩13分/都営バス「大塚二丁目」停留所下車徒歩6分
 ※時間は駅から教室までの目安です。※土曜日は南門が閉鎖されているため、正門からお入りください。※自家用車・バイク・自転車での通学はご遠慮ください。
 ※土曜日は学内の食堂・売店は営業しておりませんのでご注意ください。※大学行事などの都合により教室(建物)が変更になる場合があります。

VI. 受講料

☆春学期5月講座・6月講座、秋学期11月講座、冬学期1月講座は、2日間だけの「部分受講」が可能です。日程等の詳細は「開講講座・講師一覧」のページをご覧ください。
 ☆2018年度より、複数講座の申込割引制度に替わって、入塾料制度を導入しました。これに伴い、お茶の水女子大学卒業生・修了生とその他の受講料を同等にし、本学卒業生・修了生には入塾料免除のサービス制度を設けました。*
 ※この制度とサービスに伴う新しい受講料金表は既に塾生になっている方にも適用されます。

◎法人等団体による申込(2019年度受講料、税込)^{※1※2} 法人等各団体の窓口となる担当者のとりまとめによる一括申込には、下記の料金体系が適用されます。(領収書の発行のみを希望される方は、「個人による申込」をご覧ください。)

区分	入塾料	本講座			トライアル講座	
		1講座(4日間8コマ)の受講料	部分受講(2日間4コマ)の受講料	「企業会計」プレ講座(1日間2コマ)の受講料	1講座(2日間4コマ)の受講料	1講座(1日間2コマ)の受講料
塾生又は新規	無料	27,000円+税	18,000円+税	8,000円+税	8,000円+税	4,000円+税

◎個人(塾生)による申込(2019年度受講料、税込) 塾生番号をお持ちの方には、下記の料金体系が適用されます。

区分	入塾料	本講座			トライアル講座	
		1講座(4日間8コマ)の受講料	部分受講(2日間4コマ)の受講料	「企業会計」プレ講座(1日間2コマ)の受講料	1講座(2日間4コマ)の受講料	1講座(1日間2コマ)の受講料
塾生(塾生番号をお持ちの方)	無料	27,000円+税	18,000円+税	8,000円+税	8,000円+税	4,000円+税

◎個人(新規(塾生番号のない方))による申込(2019年度受講料、税込) 初めて徹音塾の講座に申し込まれる方、あるいは塾生番号をお持ちでない方には、下記の料金体系が適用されます。

区分	入塾料 ^{※3}	本講座			トライアル講座	
		1講座(4日間8コマ)の受講料	部分受講(2日間4コマ)の受講料	「企業会計」プレ講座(1日間2コマ)の受講料	1講座(2日間4コマ)の受講料	1講座(1日間2コマ)の受講料
お茶の水女子大学の卒業生・修了生	無料	27,000円+税	18,000円+税	8,000円+税	8,000円+税 ^{※4}	4,000円+税 ^{※5}
その他(上記以外)	3,000円+税					
トライアル講座のみのお申込 ^{※6}	無料	—	—	—	10,000円+税	5,000円+税

※1 法人等団体によるお申込には「法人ご担当者専用申込フォーム」をご利用いただけます。まずは徹音塾事務局へご連絡ください。※2 表の記載は1人あたりの金額です。
 ※3 初回お申込時のみかかります。※4※5 本講座と同時に申し込まれた場合の金額です。
 ※6 新規でトライアル講座のみのお申込の場合、塾生番号は発行されません(塾生にはなりません)。ネットワーキングランチへの参加等、塾生を対象としたサービス等は受けられませんのでご了承ください。

VII. 受講申込

1. 申込期間	春学期	5月講座 6月講座	2019年3月16日(土)~2019年4月15日(月) 2019年3月16日(土)~2019年5月13日(月)
	秋学期	9月講座 11月講座	2019年7月8日(月)~2019年8月7日(水) 2019年7月8日(月)~2019年10月15日(火)
	冬学期	1月講座 2月講座	2019年11月11日(月)~2019年12月9日(月) 2019年11月11日(月)~2020年1月20日(月)

トライアル講座	4月講座	2019年3月16日(土)~2019年4月8日(月)
	7月講座	2019年3月16日(土)~2019年7月8日(月)
	8月講座	2019年3月16日(土)~2019年7月22日(月)

※郵送の場合は必着
 ※期間に関わらず定員に達し次第申込を締め切ることがあります。

2. 申込方法 (ウェブ又は郵送) 徹音塾ホームページの申込サイトをご利用ください。ウェブによるお申込、又は郵送によるお申込が可能です。郵送の場合は、受講申込サイトから以下の書類1)と2)をダウンロードし、必要事項をご記入のうえ、下記の宛先へ郵送してください。

【申込書類】
 1) 申込書(所定の用紙、初回申込時は必須、2回目以降の申込では内容に変更があった場合に提出)
 2) 志望理由書(所定の用紙)

【申込書類提出先】
 〒112-8610 東京都文京区大塚2-1-1 お茶大女性ビジネスリーダー育成塾:徹音塾 事務局
 ※封筒に「申込書類在中」と朱書きしてください。

◎法人等団体によるお申込
 まずは徹音塾事務局(kiin-le@cc.ocha.ac.jp)へメールでご連絡ください。
 法人用の申込手順とURLをお知らせします。

3. 申込上の注意
 ・申込書類に不備があるものは受け付けないことがあります。
 ・外国籍の方は、住民票に記載されている本名を用いてください。ただし、日本名も同時に登録してある方は、日本名を用いてもかまいません。この場合、全ての申込書類の氏名は統一してください。
 ・一度受理した申込書類は返還いたしかねます。
 ・一旦納入された入塾料・受講料の返還は理由のいかんを問わずできませんのでご了承ください。

VIII. 受講の可否の結果通知

申込者にはウェブ又は郵送の「志望理由書」にて志望理由をうかがいます。志望理由の内容によっては受講いただけない場合もあります。塾生としての受入可否については、申込後1週間程度で本人宛てに電子メールで連絡します。受講手続(受講料の納入方法など)も電子メールで連絡します。

IX. 評価と修了証の発行

6つの本講座では、出席回数と課題レポートによる評価後、講座ごとに修了証を発行します。4種類以上の本講座を修了した場合は、全体修了証も別途発行します。(年度を越えて受講した場合も対象となります)ただし、部分受講(2日間)とプレ講座、トライアル講座については、課題レポートの提出は任意又は不要、修了証の発行は対象外となります。ご注意ください。

・個人情報の取り扱いについて
 本学では、個人情報の保護に関する法律を遵守し、個人情報の適正な取扱い及び最善の管理対策を講じています。申込に当たってご提出いただいた個人情報は、本件以外に許可なく使用することはありません。